

在宅歯科医療に必要な基礎知識 -疾患を中心に-

ご存知のように高齢者人口が増加することにより在宅療養高齢者数も増加することが予想され、それに向けた様々なインフラ整備が急ピッチで行われています。その中で在宅歯科医療もその一つであり、歯科医療従事者はその理解を深めることが求められている。当日は、①身体的リスク以外の在宅診療に入る際のチェックポイント、②在宅療養高齢者の身体的リスク、以上2点を中心に、認知症、サルコペニアなどのトピックスも含め、皆様方と在宅歯科医療について考えて参りたいと思います。

講師略歴

東京都健康長寿医療センター研究所 専門副部長
平野 浩彦 (ひらの ひろひこ)



日本大学松戸歯学部卒業 医学博士
平成2年 東京都老人医療センター 歯科口腔外科 研修医
平成3年 国立第二病院 口腔外科 研修医
平成4年 東京都老人医療センター 歯科口腔外科主事、
平成14年 同センター医長
(東京都老人医療センター・東京都老人総合研究所の組織編成により
東京都健康長寿医療センターへ名称変更)
平成21年 東京都健康長寿医療センター研究所 専門副部長

日本老年学会 理事
日本応用老年学会 理事
日本老年歯科医学会 常任理事・専門医・指導医
国立長寿医療研究センター特別研究員
九州歯科大学 非常勤講師
東京歯科大学 非常勤講師
日本大学松戸歯学部 非常勤講師

○興味のあるテーマ

身体加齢変化と口腔機能の関連
認知症の人の摂食・嚥下障害への支援法の確立
地域における効率的な歯科医療提供体制の確立
医療と介護の周辺サービスビジネスモデル構築